

芽室町との食を通じた交流事業(特別区全国連携プロジェクト)について(報告)

令和元年度から墨田区独自で取り組んできた芽室町との交流をさらに進めることを目的に、令和6年3月に墨田区(文化芸術振興課、保健計画課)、すみだ食育 good ネット、北海道芽室町(魅力創造課)、なまら十勝野の4者会議にて、官民協働による自治体間のしくみづくりを構築することとなった。

今年度は、そのしくみづくりや今後の取組に向けて検討、調整を行い、「食」を通じた推進体制の実現を図るため、令和6年11月28日、29日に芽室町を訪問した。

1, 墨田区と芽室町の食を通じた連絡会(自治体間のしくみづくり)について

今後、地域間交流や連絡会について、「食」を基軸に進めていく。

自治体間役割分担を含め、墨田区と芽室町の食を通じた連絡会のしくみづくりを引き続き検討していく。

2, 学校給食を通じた食育交流事業

学校給食を通して生産者の想いや生産の現場を学び、芽室町の人々と顔の見える関係を創出する。

(1) 時期

令和8年度の10月以降に実施予定。

(2) 使用食材

給食施設にて常温保存ができる野菜(じゃがいも等)

(3) 今後の検討事項

- ・オンラインの活用など、どういった内容で生産者の想いや現場について伝えていくか、また、どうやって墨田区と芽室町それぞれの子どもたちをつなげることが出来るか、検討していく。
- ・関係者が、本事業の実施前に生産の現場を知る機会をどう創出していくか検討する。